

技術分野分類 5102：電子・電気材料工学

技術キーワード A：電気・電子材料

産業分類 E-28：電子部品・デバイス・電子回路製造業

内 容	概要	本技術は、固体高分子形燃料電池用セパレータのガス流路構造（図1）に関するものである。この流路構造を用いることにより、セパレータ面内での流路構造の複合化（図2）などが可能となる。これにより様々な流路構造の長所を活かした設計が期待される。
	従来技術・ 競争技術 との比較 （優位性）	複雑な構造になると成型工程も後加工などが必要となる。本技術で提案する構造は、プレス成型等による加工が可能でありながら、多種多様な流路構造が実現できる。
	本技術の 有用性	セパレータガス流路構造（サーペンタイン、ストレートなど（図1参照））の違いにより発電性能に与える影響が異なる。本技術を用いることで、面内で流路構造を複合化することができ、燃料電池の発電性能が向上できることが期待できる。
関連情報 （図・表・写真等）	 	<p>図1 セパレータに設ける流路構造の例</p> <p>図2 試作品</p>
適用可能製品	燃料電池用セパレータ（樹脂セパレータ，金属セパレータ）	
技術 シーズ 保有者	氏名 所属・役職	富村 哲也 三重県工業研究所 プロジェクト研究課 主任研究員
技術 シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	三重県工業研究所 企画調整課 059-234-4037 / 059-234-3982 kougi@pref.mie.jp

■知的財産 特許第4336855号

固体高分子型燃料電池用セパレータおよびそれを用いた固体高分子型燃料電池

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2011年10月1日